

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 2月 22日

事業所名 社会福祉法人 サポートセンターあいぷろ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		2階に行く時に階段しかないため、車椅子の方が上がれない。現座、対象児童はいないため必要であれば検討が必要。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在は行われていない。機会があれば今後の業務改善につなげていきたい。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			外部研修参加に努め、より良い支援の提供ができるようにしている。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		同じ曜日で活動が被らないように留意し活動内容を検討している。長期休暇では外出や普段できないメニューを提案している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		延長支援、SSTなどの個別課題と集団活動を分けて支援を実践しており、中高生、希望者に対しては将来を見据えて作業体験の提案もさせてもらっている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		打ち合わせの時間を必ず取れない事があるため連絡ノートの確認を行い都度気づいた点がある時に確認、情報共有を行っている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
18 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている		○		基本的には行えているができていない部分、または現在難しい部分もあるため、今後検討しながら進められるようにしていきたい。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		リーダーだけでなく、関わりの深い職員もできるだけ参加できるようにしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		送迎時に遅れないようにする事、急ぐ事のないよう送迎できるように組んでいるが、どうしても遅れる場合は学校側に待ってもらう事もお願いし、協力していただきながら安全に送迎できるようにしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在、該当児童はいないが、該当する児童が利用する事になった場合は連絡体制を整えられるようにしていきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		その場合は幼稚園、保育園等にも声を掛け情報共有できるようにしていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		必要があれば今後検討していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現段階では難しいが、公園などの外出時に障害のない子どもたちと一緒に関われる機会が数回あったため、そのような機会を増やしていければと思う。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			主に連絡帳でのやり取りを行い、必要に応じて電話連絡やメール等を通し、児童の様子について共通理解できていると思う。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に説明をさせていただいているが、電話等ですぐに説明ができなかった場合は、確認後こちらから改めてご連絡させていただいている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			連絡帳を通じて、課題としている事や相談に対してやり取りを行っている。必要であれば相談支援の方にも話をさせてもらい場合によっては担当者会議のばにも参加させていただいている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		以前は保護者様の茶話会を行う事もあったが、人数が集まらずフェイドアウトしてしまっている。現在の状況下では難しい所もあるため状況を見ながら再開していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情があった場合は速やかに施設長に報告し対応させていただいている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			HPやライン、インスタグラム等で情報発信をしている。
	35	個人情報に十分注意している	○			個人情報の持ち出しを禁止することで制限をしている。SNSへの投稿についても契約時に個人情報使用同意書を提出していただき、それに基づいて対応している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			お子様に合った対応や伝え方ができるよう努めている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年職員が交代で虐待防止の研修に参加している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		身体拘束は原則禁止にしている。そのためやむを得ないケースについては、お子様、保護者様に十分に説明させてもらっているが、放課後等デイサービス計画に記載がされているか確認の必要がある。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者様からご連絡いただき対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			